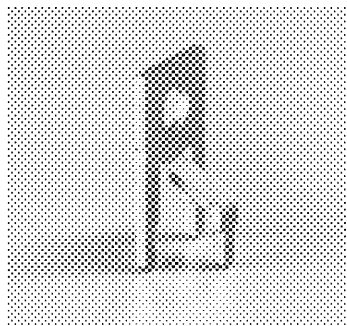


基板端子、固定金具にも

フジコンが4種 干渉なく配置

フジコン（東京都大田区、大島右京社長）は、プリント基板と電線の接続のほか、基板同士の固定金具として使える基板端子の新製品を発売する。定格電流が15～30㍉（同行品は30㍉）で、横幅を9・0㍉（同11・6㍉）とした。価格は個別見積もりで、年間10万個を販売する。



同社が月内に発売する新製品は基板端子「F4146」で、工作機械や産業用ロボットの電源向け

製品となる。3点で固定する構造にしつつ、設計を工夫して安定的に固定できるといふ。先行品より横幅が小さく、干渉なく基板を配置できるとしている。全4種類を

用意し、それぞれ直径3㍉、同3・5㍉、同4㍉など。電源などは高性能化と小型化に伴い、内部に効率的に基板を配置する要求が高まっている。

端子シリーズの第2弾